

## 「スマートシティたかまつ推進協議会（仮称）」に参加

2017年10月25日

株式会社ミトラ

ミトラは、高松市の「スマートシティたかまつ推進協議会（仮称）」に設立会員として参加、10月25日に開催された設立総会に弊社専務取締役の藤井智宏が出席いたしました。

「スマートシティたかまつ推進協議会（仮称）」は、産学民官の連携の下、官民データを共通プラットフォーム上で適正かつ効果的に利活用することによって、高松市の地域課題の解決を図り、いわゆるスマートシティ化によって、活力にあふれ、創造性豊かなまちづくりを実現することを目的に設立されました。



ミトラは、2002年より創業の地である高松市において周産期電子カルテ「ハローベイビープログラム」の開発及び販売を中心に、医療・医薬システムの開発を通じて医療ITの発展に貢献してまいりました。

更なる医療ITの発展に向け、2017年からは医療やヘルスケア分野におけるIoTプラットフォーム事業を展開、人／モノ／医療／健康の全てとの繋がりによるデータ利活用を目指してまいります。

## IoTプラットフォームについて

現在、香川高等専門学校との産学連携による高齢者見守りに適した「ウェアラブル生体センサー」の研究開発を進めています。この「ウェアラブル生体センサー」は、香川高等専門学校の特許である高感度呼吸センサーを利用し、服の上から簡単に装着できるウェアラブルIoTとして高齢者の呼吸状態等をデータ収集します。

IoTプラットフォームでは、呼吸状態等のデータを集約及び分析することで、医療機関の電子カルテやご家族のスマホ等での確認や、異常状態（危険な状態）を検知した際には関係者へメール通知する等の機能を提供する予定です。